

プレスリリース

2010年までの海外直接投資の資金流入額で、中国は新興市場で首位となるだろう；

インドおよび日本への資金流入は引続き停滞するだろう

2006年9月5日

本日発表のレポート、「World Investment Prospects to 2010: Boom or Backlash」 「2010年までの世界の投資予測：ブームかバックラッシュか」によると、経済発展の目ざましいアジア地域に、2005年には過去最高の海外直接投資（以下「FDI」）の資金が流入し、その総額は1,770億米ドルに上り、また新興市場地域別の総額では突出していました。同レポートはエコノミスト・インテリジェンス・ユニットとコロンビア・プログラム・オン・インターナショナル・インベストメント（以下「CPII」）による共同発表です。「中国は単独でも FDI の流入が主要新興市場の中で群を抜いており、また今年も 870 億米ドル近くを吸収するでしょう。」と、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット、カンントリー・フォーキャスティング・サービスのディレクターで同レポートの編集員の一人でもあるラザ・ケキック氏は言います。ただし、中国のこの勢いによって、他のアジア諸国への FDI 資金フローが減少するというわけではありません。CPII のエグゼクティブ・ディレクターでレポートのもう一人の編集員であるカール P. ソーヴァン氏によれば、「FDI はゼロサム・ゲームではありません。例えば、我々は 2006-2010 年の間に、中国への FDI の資金流入と ASEAN 諸国への資金流入の格差は縮小すると予想しています。」

アジア&オーストラリア地域への FDI 資金流入額 (単位：10 億米ドル)

	2005 年	2006 年	2010 年
現在の米ドル貨幣価値表示			
資金流入	146.0	199.4	227.5
世界全体に占める割合 (%)	16.0	18.1	17.3
中国*	79.1	86.5	80.0
香港*	35.9	37.3	31.2
シンガポール*	33.4	21.0	22.0
インド*	6.7	9.5	14.3

出展: World Investment Prospects to 2010: Boom or Backlash?

*同地域ベースでの 2006 年 FDI 資金流入上位 4 位国

上記レポートで報告されている主な内容は以下の通りです：

- **新興経済への FDI 資金流入で、中国がトップを占める。** 2005 年の新興経済への FDI 資金流入においては中国が他を遥かに凌いでいたが、その背景には金融セクターでの大型投資が原動力となり、同国への FDI 資金フローが 800 億米ドル近くに上ったことがある。今後も大規模な投資が予定されており、中国への FDI は 2006 年には 870 億米ドル近くに達するものとみられる。

- **インドは依然出遅れる。**インドは海外からの投資を誘致する改革を 1991 年に開始したばかりでもあり、未だ FDI 資金のクリティカルマスを蓄積するに至っていない。業務プロセスや IT 外部委託のハブとして地位を築いているが、これらの経済活動は通常、FDI ではなく、第三者取引を通じたインドのサービス・セクターによる輸出とされている。
- **アセアン諸国は中国に負け続けるわけではない。**アセアン・メンバー国のうちには、自国への FDI 資金が中国へ振り向けられているとの強い懸念を持つ国もある。これらの国々は少なくとも 1990 年代末の経済危機までは、アジア地域向け FDI 資金流入の多くを享受していた。このような懸念は的を射たものではない。FDI はゼロサム・ゲームではなく、またアセアン諸国の多くは、中国への需要を満たす拠点としての魅力を有しているからである。さらに、中国の賃金水準が上昇するにつれ、アセアン諸国の中には低コストの製造業で競争力を増すものも出て来るだろう。従って、中国向けの FDI 資金フローとアセアン諸国向けの FDI 資金フローとの格差は、2010 年までの間に縮小するものと予想される。
- **日本は FDI の目標を達成できない模様。**日本は現在、同国向け FDI 資金フローが 2006 年末には GDP の 2.5% に達するよう目標を掲げており、これに続き 2010 年までには FDI 資金流入を GDP の 5% にまで増加させる目標を立てている。しかしレポートは、この目標が達成される可能性は低いと予想している。複雑な規制環境や高コストに加え、外国資本による有力日本企業の支配に対して依然嫌悪感があることなどが、大規模な資金流入を阻むと考えられるからである。

World Investment Prospects to 2010 の完全版は、以下のサイトで入手できます。

<http://www.store.eiu.com> (価格：£50/\$95)

同レポートの無料特別版は、以下のサイトで入手できます。

www.eiu.com/wip or www.cpii.columbia.edu

報道関係者は、以下の PR 窓口から同レポートを入手できます。

FDI トレンド・ウェブキャスト： World Investment Prospects の著者による見解や分析については、以下にアクセスして下さい。：www.eiu.com/world または www.cpii.columbia.edu ウェブキャストの予約は 9 月 1 日より受付けています。ウェブキャストの開始時間は、9 月 5 日 11:00 am アメリカ東部夏時間です。

詳細については以下の窓口にお問合せ下さい：

<p>エコノミスト・インテリジェンス・ユニット</p> <p>シーラ・アレン：電話：+44 (0)20 7576 8188 Eメール：sheilaallen@eiu.com</p> <p>ラザ・ケキック：電話：+44 (0)20 7576 8320 Eメール：lazakekic@eiu.com</p>	<p>コロンビア大学</p> <p>クレア・オー：オフィス電話：1 (212) 854-5479 携帯：(646) 415-2479 Eメール：coh@ei.columbia.edu</p> <p>ロバート・ホーンズビー： オフィス電話：1 (212) 854-9752 Eメール：rh2239@columbia.edu</p> <p>カール P. ソーヴァン： オフィス電話：1 (212) 854-0689 携帯：1-646-724-5600 Eメール：Karl.Sauvant@law.columbia.edu</p>
---	--

エコノミスト・インテリジェンス・ユニットについて

Economist Intelligence Unit
26 Red Lion Square, London WC1R 4HQ UK

Columbia Program on International Investment
435 W. 116th St., Rm. 639, New York, NY 10027 USA

エコノミスト・インテリジェンス・ユニット (EIU) は、「エコノミスト誌」の発行者であるエコノミスト・グループのビジネス情報部門です。EIUは世界で500名を超すアナリストから成るネットワークを通じて、世界195カ国の政治、経済、ビジネス環境などを常に評価・予測しています。世界各国の情報を提供するリーダー的な存在として、EIUは世界の市場動向やビジネス戦略に関して信頼あるかつ中立的な分析を適宜提供することにより、トップマネジメントによる優れた意思決定のお手伝いをしています。EIUに関する詳細は、以下のウェブサイトでご覧になれます。 : www.eiu.com

コロンビア・プログラム・オン・インターナショナル・インベストメントについて

コロンビア・プログラム・オン・インターナショナル・インベストメント (CPII) はカールP. ソーヴァン氏を代表者とし、米国コロンビア大学法律大学院 (代表者デヴィッドM. シザー学部長) と、コロンビア大学アース・インスティテュート (代表者ジェフリー D. サックス教授) による共同活動です。CPIIは、世界経済における海外直接投資に関する諸問題を扱うリーダーを目指しています。また、海外直接投資が公共政策や国際投資法に及ぼす影響の分析やそれから得られる教訓などに焦点を当てています。CPIIの目的は、海外直接投資に関わる重要な政策がらみの時事問題を分析し、現実的なアプローチや解決策を開発すると共にこれらを伝達し、さらに学生にチャレンジを要する学習環境を提供することにあります。当プログラムについての詳細は、以下のウェブサイトでご覧になれます。 : www.cpii.columbia.edu